

「RSウイルス感染症」が、発生しています。

次のような症状が見られたら、早めに受診を！

- ・発熱、鼻水、咳等から始まる
- ・しだいに咳症状がひどくなり、喘鳴（ゼイゼイ）を伴い呼吸が苦しくなる



もし、RSウイルス感染症と診断されたら...

お休みしてください。

【登所(園)のめやす】 重篤な呼吸器症状がなくなり、全身状態がよいこと



厚生労働省：保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）参照

かかりつけ医の「病状が回復し、集団生活に支障がない状態」との判断を受けてからの登所(園)となります。

【潜伏期間】

4～6日

【感染しやすい期間】

呼吸器症状がある間

【主な合併症】

細気管支炎、肺炎

特に、乳児期の初感染では、呼吸状態の悪化によって重篤化することがある

ご家庭で気をつけること

- ・大人の感染者は、症状は軽くても感染源となります。手洗い、咳エチケットを励行しましょう。
- ・室内が乾燥しないように工夫しましょう。
- ・食事や水分は少しずつこまめに与えましょう。
- ・何度もかかることがあるが、徐々に症状は軽くなります。

